

2018年9月期 決算説明会 資料



2018年11月30日

当資料に記載されている、当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した、想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性もありますので、ご承知おき下さい。

会社の事業に影響を与える可能性のある事項の詳細は、「2018年9月期 決算短信」の「事業等のリスク」をご参照ください。

但し、業績に影響を与える可能性のある要素は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

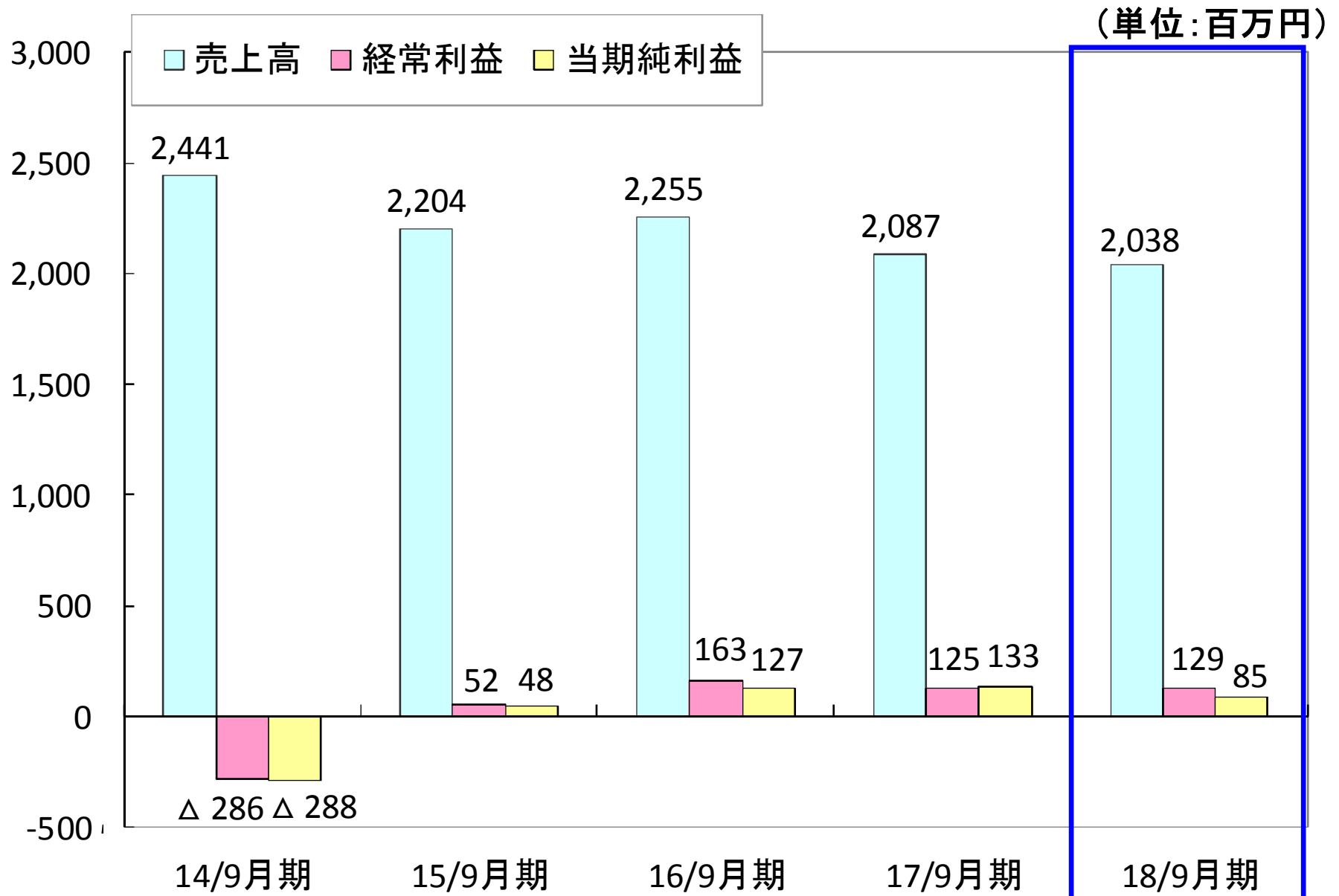
法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直すなど、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承下さい。

【IRに関するお問い合わせ先】

電話 : 0836-39-5151

E-Mail : ir@afs.co.jp

2018年9月期 決算概要



■ソフト販売の比重を上げた粗利益ベースの営業を継続 (単位：百万円)

	18/9月期			17/9月期		コメント
		構成比	対前年同期 増減率		構成比	
売上高	2,038	—	△2.3%	2,087	—	軽減税率対策補助金が追い風となり、「 飲食店経営管理システム® 」の販売が下期で伸長
売上原価	1,148	56.4%	△13.7%	1,331	63.8%	システム機器販売と構成の見直しにより原価を圧縮
売上総利益	889	43.6%	+17.8%	755	36.2%	ソフトウェア販売の比重増加により粗利率改善
販管費	741	36.4%	+19.8%	619	29.7%	受注増を考慮した環境の整備と、確定拠出年金周辺費用が増加
人件費	434	21.3%	+14.6%	379	18.2%	積極的な採用と人材育成、労働環境の整備に費用を投下
その他	307	15.1%	+27.8%	240	11.5%	ホテル事業の開始により光熱費等の費用が増加。
営業利益	148	7.3%	+8.8%	136	6.5%	「 飲食店経営管理システム® 」の販売で利益率改善
営業外収益	2	0.1%	△75.9%	9	0.4%	
営業外費用	20	1.0%	+1.3%	20	1.0%	
経常利益	129	6.4%	+3.8%	125	6.0%	
社員数	124名		+14.8%	108名		

■ 総資産は前期末からの現状を維持

(単位：百万円)

主な勘定科目	17/9月期	18/9月期	増減額
流動資産	942	890	△ 51
固定資産	1,653	1,711	58
(資産合計)	2,595	2,602	6
流動負債	890	954	64
固定負債	608	514	△94
(負債合計)	1,498	1,468	△29
1. 資本金	537	537	—
2. 資本剰余金	327	327	—
3. 利益剰余金	268	305	36
4. 自己株式	△37	△37	0
(純資産合計)	1,096	1,133	36
(負債・純資産合計)	2,595	2,602	6

■営業キャッシュフローは昨年を下回ったものの2億円弱を維持

(単位：百万円)

主な項目	18/9月期	増減額	17/9月期	コメント
営業活動	173	△223	397	主なものは当期純利益、減価償却費の計上
投資活動	△198	+432	△631	主なものは有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出
財務活動	△81	△334	253	長期借入れによる返済、配当金の支払等
現金及び現金同等物の増減額	△105	△125	19	
現金及び現金同等物の期首残高	249	+19	229	
現金及び現金同等物の期末残高	143	△105	249	

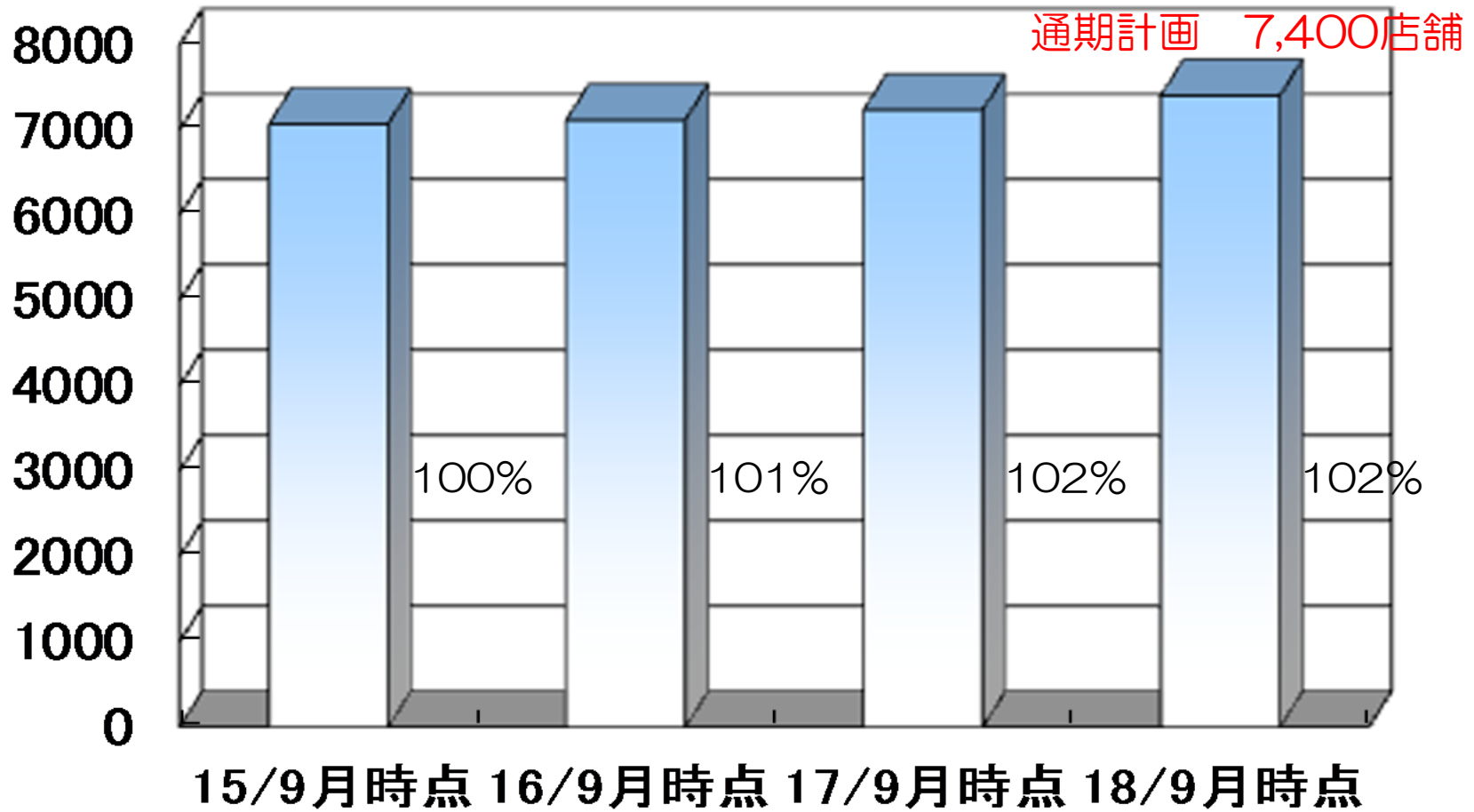
■ホテル関連事業のセグメントを新たに追加(許認可の関係で上期の営業ができなかった)

(単位：百万円)

主な事業セグメント		18/9月期			17/9月期		コメント
			構成比	対前年同期増減率		構成比	
ASPサービス事業	ASPサービス事業	1,193	58.6%	+8.2%	1,103	52.9%	軽減税率対策補助金が追い風となり、「 飲食店経営管理システム® 」の販売が下期で伸長
	システム機器事業	588	28.8%	△27.9%	815	39.1%	引き続き、新規営業は抑制し、既存顧客の出店対応と、リプレイスに集中
	周辺サービス事業	187	9.2%	+11.6%	167	8.0%	主力サービスにシナジー効果のあるものに限定了周辺サービスに集中
ホテル関連事業		69	3.4%	—	—	—	システム検証店舗の位置づけを兼ね、ロビーラウンジ内にマスターズカフェをオープン
合計		2,038	—	△2.3%	2,087	—	—

■ASP基幹業務サービス事業 – サービス提供店舗数の推移

(単位：店舗数)

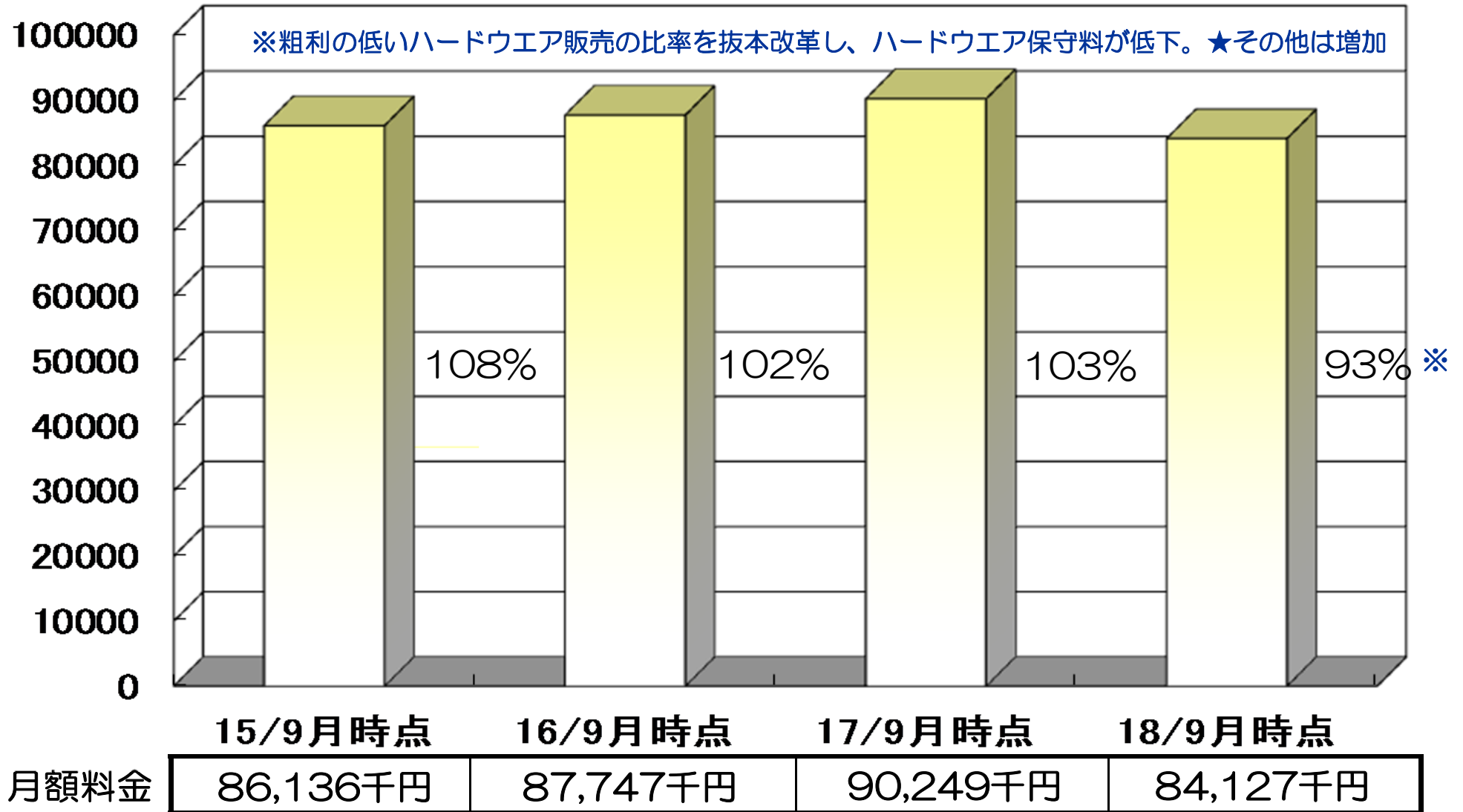


サービス提供数
契約企業数

	15/9月時点	16/9月時点	17/9月時点	18/9月時点
サービス提供数	7,067店舗	7,115店舗	7,232店舗	7,403店舗
契約企業数	282社	276社	273社	276社

■ASP基幹業務サービス事業 - 月額料金の推移

通期計画 1,150,000千円 (年)
(単位：千円)

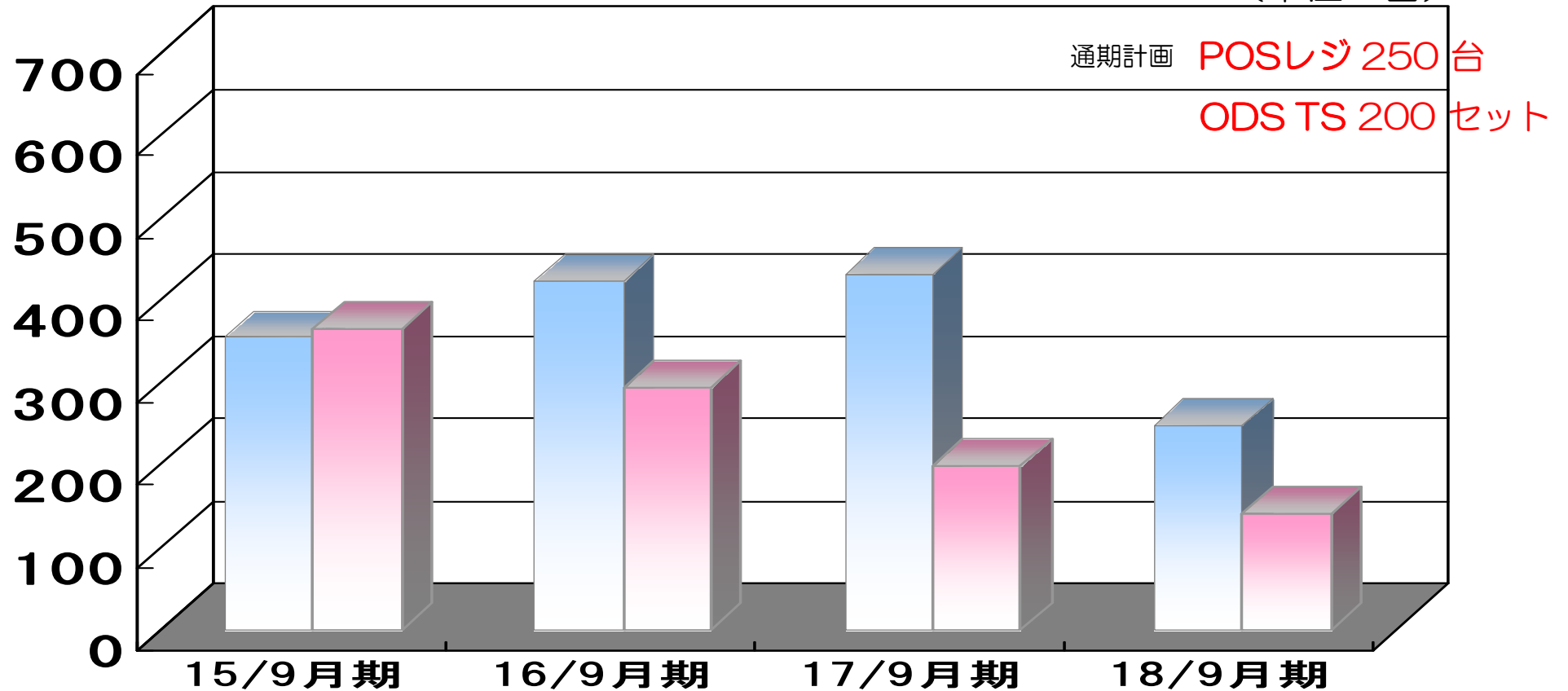


主な経営指標の推移③

■システム機器事業 - POS (**FOOD&5000** **FOOD&6000** **FOOD&4000**)

- OES () の販売数

(単位：台)



POSシステム 台数	355台	424台	432台	249台
ODS TS 販売セット数	366セット	294セット	200セット	185セット

◆第3四半期の5月23日に、日経MJ紙（外食ランキング号）1面カラー広告出稿を継続 「飲食店経営管理システム®」拡張機能「自動発注システム」の啓蒙活動をさらに活発化

★10月15日の日経MJ紙面にも、同様の1面カラー広告を出稿★

自動発注システムの需要増に備え、業務改革及び導入要員の育成、底上げのため、計画を超える大幅採用増の実施と、2018年4月4日、一般社団法人「**外食産業自動発注業務改革機構**」（RARO）を設立

業務改革要員の育成に注力。

リリース



27年前、あっという間に業界ベストセラーとなった「飲食店経営管理システム」 累計1000社18000店舗に導入。外食IT投資の本質を追究した「食材ロスの機械的追放」「自動発注システム」'食'の情報システムに革命をもたらした「飲食店経営管理システム」が、復活!!

★「自動発注システム」が、特許を取得★

店舗作業の大幅な軽減と、内部統制、会社利益の向上が図れます。

全国統々と導入、稼働開始中その導入効果に驚愕の声!

外食チェーン向け統合業務管理システム **シェアNo.1**

「飲食店経営管理システム」が最も推奨し実現する、高度な自動発注機能

自動発注システムが、経常利益25%以上、原価率8%以上改善など、驚異的なコストコントロール実現の事例多数!!

「飲食店経営管理システム」の自動発注機能を用いた、外食チェーンや、仕入業者から、初めて低コストの食材購入、経常利益向上が実現。約10%の食材ロス削減の経済的効果も多数あります。どこでもの経済的効果が期待できる。得意先が「飲食店経営管理システム」に採用されたの、当社で最も多く、自動発注機能の導入が実現しています。この機能は、導入された店舗で、食材ロス削減の効果が顕著に現れ、経営改善の原動力として、経営者から高く評価されています。

現在お使いのPOSシステムにFTP通信機能があれば、どのメーカー機種との売上集計も可能です。

自動発注セミナー全国開催中

6月5日 東京 6月6日 大阪
6月7日 福岡 6月7日 広島

1名の「自動発注業務改革推進士」が誕生した。
第2回のカリキュラムは、10月16~18日、12月11~13日で実施中。
12名が受講中で、受講者は、外食業界専門のフードコンサルタント／公認会計士／中小企業診断士／税理士などの方で、試験合格後は、すぐに実顧客でアドバイザーになって頂ける実践レベルの方々。
RAROの設立趣旨通りの流れを作れている。

NEWS RELEASE

JASDAQ
平成30年4月3日

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者 代表取締役社長 田村 隆雄
(コード番号:3814 東証 JASDAQ)
電話番号 03-5426-3111
URL http://www.afs.co.jp/

外食産業全体の自動発注を広く普及させるための一般社団法人、設立のお知らせ

株式会社アルファクス・フード・システム（本社：山口県山陽小野田市、代表取締役社長 田村隆雄）は、現在、外食産業で最も人手不足の領域と、外食産業に最もより存在している発注業務全体の食材ロス削減を推進しています。そのうち、2017年1月に設立した「飲食店経営管理システム®」自動発注システムの普及が、外食産業全体の人手不足解消の切り札として注目されています。また、当社は、飲食店経営で利用するPOSシステム、オーダーシステム（注文システム）の導入をサポートする「外食産業自動発注業務改革機構」を設立しました。

1. 趣意
当社は、「食文化の発展に貢献する」ことを事業ポリシーとして、飲食業に特化した最新業務システム「シェアNo.1型」による提供で、特に飲食業の経営士層と経営者層の両方から支持を受けています。そのうち、2017年1月に設立した「飲食店経営管理システム®」自動発注システムの普及が、外食産業全体の人手不足解消の切り札として注目されています。また、当社は、飲食店経営で利用するPOSシステム、オーダーシステム（注文システム）の導入をサポートする「外食産業自動発注業務改革機構」を設立しました。

2. 飲食業界の人手不足は深刻な問題であり、外食産業革新機構、コンピュータの発達に伴い、一般小売店舗については、自動発注システムが一般的となっているものの、飲食店側の現場には食材ロス削減の課題が依然として残っています。このことから人手不足を深刻化し、さらには食材ロス削減の課題が深刻化しています。当社の課題を解決するため、2018年に自動発注システムをリリースし、働く間に当時の出資者層を中心に、20社約600店舗で展開された人材育成に貢献しました。その結果、シェアNo.1型の新機能「自動発注システム」が導入された店舗で、食材ロス削減の効果が顕著に現れ、経営改善の原動力として、経営者から高く評価されています。

3. 「外食産業 自動発注業務改革機構」設立に関する情報
当社は、外食産業の自動発注率と人手不足に対応するため、2018年4月、自動発注システムをリリースし、その後2017年1月に、自動発注システムとして、国内で初めての特許を取得したことにより、飲食業界に高い知名度の認知度を獲得したとされています。今年1月には、大手外食企業と提携し、新しい人材育成の場が創出され、今年中に自動発注システムの導入が実現されています。また、自動発注システムの普及が、外食産業全体の人手不足解消の切り札として注目されています。今年1月には、大手外食企業と提携し、新しい人材育成の場が創出され、今年中に自動発注システムの導入が実現されています。

◆新システム機器企画に関しても、**外食産業 人手不足対策に訴求力のある製品に集中**◆
 2017年12月8日に、自動金銭機器大手のグローリー株式会社と業務提携し、「セルフレジ」を共同開発
 (当社はソフトウェアを担当)製品「**FOOD GENESIS セルフショット**」をリリース



◆業界最小サイズ/低価格で、どこにでも設置可能

◆1台5役 (前会計/後会計/混在会計/券売機会計/通常会計)
 業界随一の機能で、すべての店舗業態をカバー。

圧倒的な複合機能により特許申請



◆上期に対策した「**飲食店経営管理システム®**」「**自動発注システム**」の「**軽減税率対策補助金**」対象製品に登録◆

6月より本格的に、補助金需要に対応した営業を開始

予想外に中小チェーンの補助金需要があり、
7-9月で、今期利益予算の約50%の取込みに成功

軽減税率対応済み

業界 No.1 の実績
● 食材の発注 / 在庫ロスの圧縮で、究極のコストダウンを実現する。
飲食店経営管理システム®

● 適用業種： レストラン・喫茶・居酒屋・ビアガーデン・料亭・食堂
弁当屋・仕出屋・給食センター・病院給食・学校給食
ファーストフーズなど各外食企業のおよぼる業態店舗
に対応します。

システム開発及び販売代行
ALPHAX FOOD SYSTEM
株式会社アルファクス・フード・システム



補助金対象製品登録
リリース

PRESS RELEASE

JASDAQ
平成 30 年 5 月 21 日

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証 JASDAQ)
電話番号 0836-39-5151
URL <http://www.afa.co.jp/>

「飲食店経営管理システム(R)」シリーズが軽減税率対策補助金対象製品に登録されました

当社の主力商品である飲食業界向けパッケージソフト「飲食店経営管理システム(R)」シリーズが、軽減税率対策補助金対象製品に登録されましたのでお知らせいたします。
このことにより、お客様が軽減税率制度対応にかつた費用について、補助金を受けることができます。
当補助金は消費税軽減税率制度(複数税率)への対応が必要となる中小企業・小規模事業者等の方々で、複数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修などを行うにあたって、その経費の一部を補助する制度です。当社のPOSシステム製品についてはすでに、補助金の対象となっておりましたが、それに加え、主力の「飲食店経営管理システム(R)」シリーズ全製品が対象となりました。

当社の軽減税率対策補助金対象製品・サービスは次の通りです。

1. 「飲食店経営管理システム(R)」[標準システム]
2. 「飲食店経営管理システム(R)」[売掛支援システム (非営業・ホテル業向け)]
3. 「飲食店経営管理システム(R)」[給食事業 (献立作成) 支援システム]
4. 「飲食店経営管理システム(R)」[回転寿司支援システム]
5. 「飲食店経営管理システム(R)」[売掛支援システム (C K・物流センター仕様版)]
6. 「飲食店経営管理システム(R)」[飲食店専用 EDI 受発注システム]

以上 軽減税率対策補助金B 2型の対象パッケージソフト6種類となります。

■ご参考
補助割合 補助対象経費の2/3 (上限100万円)または1/3 (上限 50万円)
注意 補助金の採用には審査があり、補助対象となる支出にも範囲が設定されています。
詳しくは、軽減税率対策補助金のホームページをご確認ください。

■軽減税率対策補助金事務局ホームページ
http://www.kat-ho-jo.jp/search/product_no/b2/

■この件に関するお問い合わせは
株式会社アルファクス・フード・システム
マーケティング営業戦略部 TEL: 0836-39-5151

◆業界専用のハード/ソフト/周辺サービスを1社完結させる当社ならではの連携製品による新サービス◆
 スマホからテイクアウト/デリバリー業務用注文受付Webサービス「**e-foodオーダー**」を拡張リリース

Webからの注文予約を、すでに店舗運用の柱となっている
 厨房機器の「キッチンプリンタ」に直接出力できる**業界初の機能**を搭載

◆これまで、ありそうでなかった新サービスのリリースにより、続々と導入が決定◆

近年最大級の新システム製品/サービスリリースにより、
 はじめて当社が主催する「新製品/体感展示会」を実施

新製品発表会&実体験フェア開催 11月7日(水)/ザ・プリンスさくらタワー東京

<p>★無線給電で1台3万円以下</p> <p>FOOD GENESIS テーブルショット</p>  <p>もう発注は、自動発注が当たり前時代に</p> <p>発注量自動計算</p>	<p>★1台70万円からの低価格</p> <p>FOOD GENESIS セルフショット</p> <p>レジ台にそのまま置ける超コンパクト!</p>  <p>※特許出願中</p>	<p>★月額7,000円で使い放題 テイクアウト・デリバリー</p> <p>e-foodオーダー</p>  <p>Webで発注 店舗キッチンプリンタに出力</p> <p>TAKE OUT OK!</p> <p>使い勝手抜群 安心・安全です</p>	<p>【テーマ】飲食店の「無人化」「オート化」</p>  <p>セルフレジで人件費40%削減 完全自動発注で、在庫誤差率0.24%!</p>	
<p>連動 ← → 連動</p> <p>← → 連動</p> <p>GLORY</p> <p>グローリー株式会社製 つり銭機と一体化</p>			<p>実際のカフェを再現 「Web」で、「テーブルショット」で実際にカフェメニューをオーダーし、食材が自動で発注されるまでを実体験できます (メニューはそのままお召しあがれます)</p>	
<p>＜参加お申込み＞ 弊社HPまたは東京本部 営業担当までお電話下さい。</p>				<p>日時：11月7日(水) 10時～17時 ※事前登録制(無料)</p> <p>主催：株式会社アルファクス・フード・システム</p> <p>協力：グローリー株式会社</p> <p>会場：ザ・プリンスさくらタワー東京2F (ランドプリンスホテル高輪 手前/駐車場完備/JR品川駅前(徒歩3分))</p>

多くのお客様にご来場頂きました。

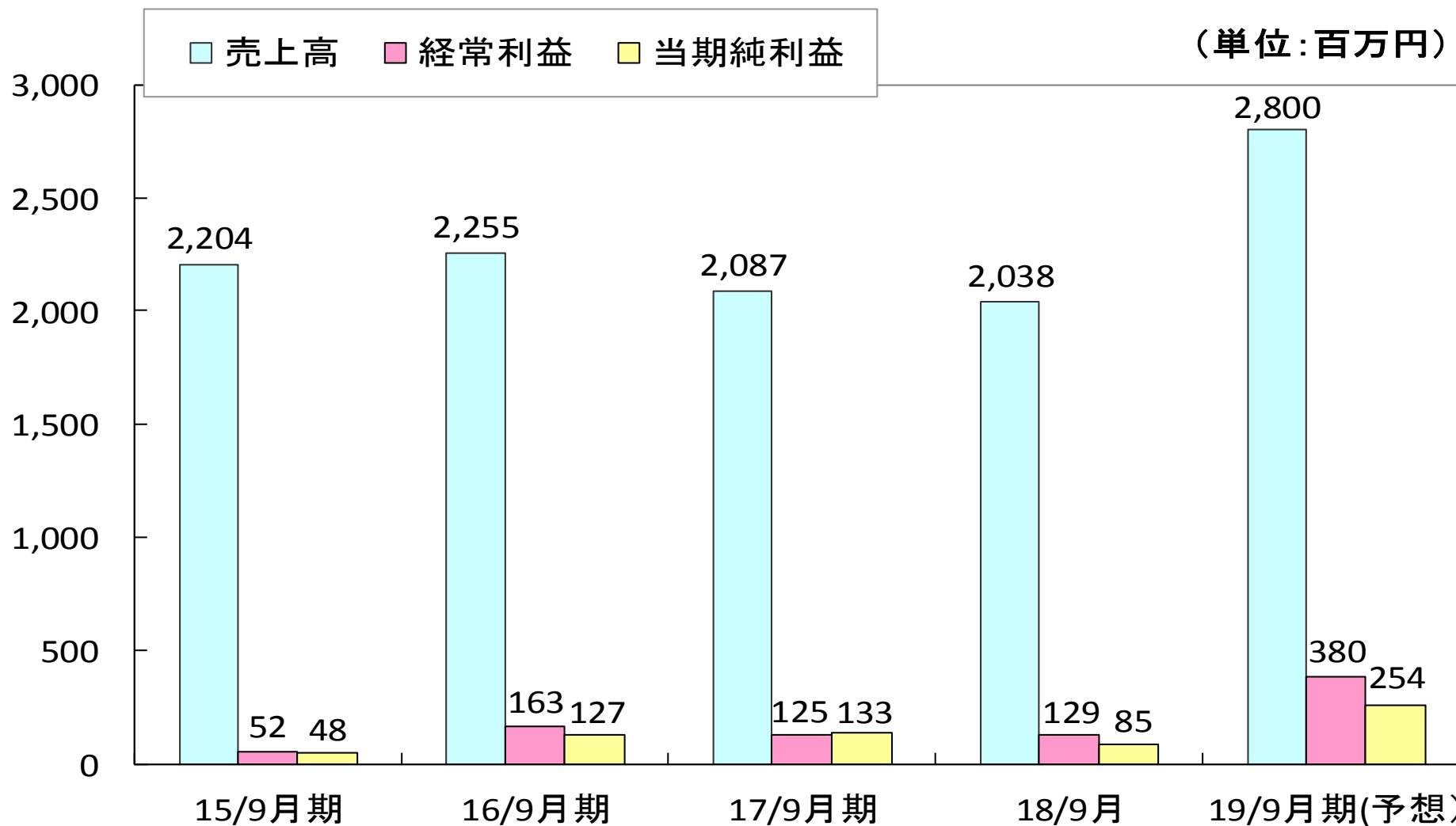
2019年9月期 事業戦略

- ◆粗利益の高いソフトウェア販売をベースに、早期の**営業利益率20%以上**の事業体質に
- ◆全業態対象の基幹業務システム「**飲食店経営管理システム®**」と、拡張機能の「**自動発注システム**」、完全連携のマルチ決済を含めた周辺サービスで、月額収入の安定増を推進
- ◆新たに加わったエネルギーコスト削減サービスで、ホテル/温浴施設など手薄な顧客層を開拓、将来的な食材ロス削減に繋げる

(単位：百万円)

主な勘定科目	19/9月期 (計画)			18/9月期	
		構成比	増減率		構成比
売上高	2,800	—	37.3%	2,038	—
営業利益	400	14.3%	170.0%	148	7.3%
経常利益	380	13.6%	192.6%	129	6.4%
当期純利益	254	9.1%	195.7%	85	4.2%

■主力事業と、エネルギーコスト削減サービスのシナジー効果で、過去最高の売上を更新



- ◆ASPサービス事業については、主力の「**飲食店経営管理システム®**」、「**自動発注システム**」に集中
- ◆システム機器事業については、無理な価格競争による新規受注は避け、既存顧客の買替え需要を中心とする
- ◆周辺サービス事業は、新たに加わったエネルギーコスト削減サービスを主力事業とのシナジーをとって推進

(単位：百万円)

主な事業セグメント		19/9月期 (予想)			18/9月期	
			構成比	対前年同期 増減率		構成比
ASPサービス事業	ASPサービス事業	1,250	44.6%	4.7%	1,193	58.6%
	システム機器事業	800	28.6%	36.0%	588	28.8%
	周辺サービス事業	590	21.1%	214.9%	187	9.2%
ホテル関連事業		160	5.7%	130.0%	69	3.4%
合計		2,800	—	37.3%	2,038	—

- ◆経費の効率的配分を継続、大型展示会出展／販促費の費用を増額
- ◆主力の「**飲食店経営管理システム®**」「**自動発注システム**」サービスに集中し、全体として高粗利体質に
(単位：百万円)

	19/9月期 (予想)			18/9月期		コメント
		構成比	増減率		構成比	
売上高	2,800	—	37.3%	2,038	—	「軽減税率対策補助金」需要及び、エネルギーコスト削減事業参入による売上増
売上原価	1,556	55.6%	35.4%	1,148	56.4%	システム機器販売の構成比低下により構成原価低減
売上総利益	1,244	44.4%	39.8%	889	43.6%	
販管費	844	30.1%	13.8%	741	36.4%	
人件費	450	16.1%	3.5%	434	21.3%	積極的な中途／新卒採用と人材教育に費用を投下
その他	394	14.1%	28.3%	307	15.1%	経費の効率配分で販促を充実。
営業利益	400	14.3%	170.0%	148	7.3%	「 飲食店経営管理システム® 」販売比率増で収益改善
営業外収益	5	0.2%	126.3%	2	0.1%	
営業外費用	25	0.9%	22.1%	20	1.0%	
経常利益	380	13.6%	192.6%	129	6.4%	大幅増益

社員数	127名	2.4%	124名
-----	------	------	------

■ ナチュラルグリーンパークホテルの化石燃料ボイラー全撤去(*全国初)にみる、コスト削減の実例 ■

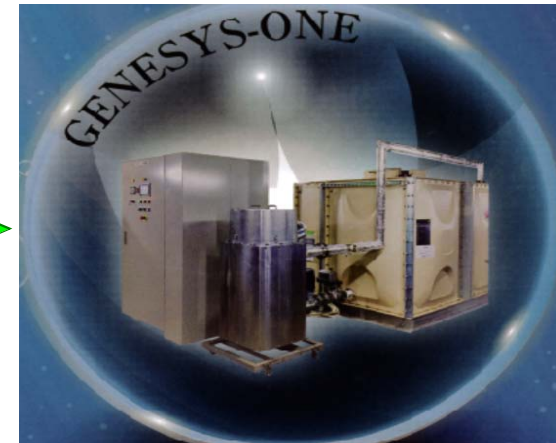


*ボイラーは通常2台で運用されており、
これまで、1台残しての入替となっていた。

S重油ボイラー



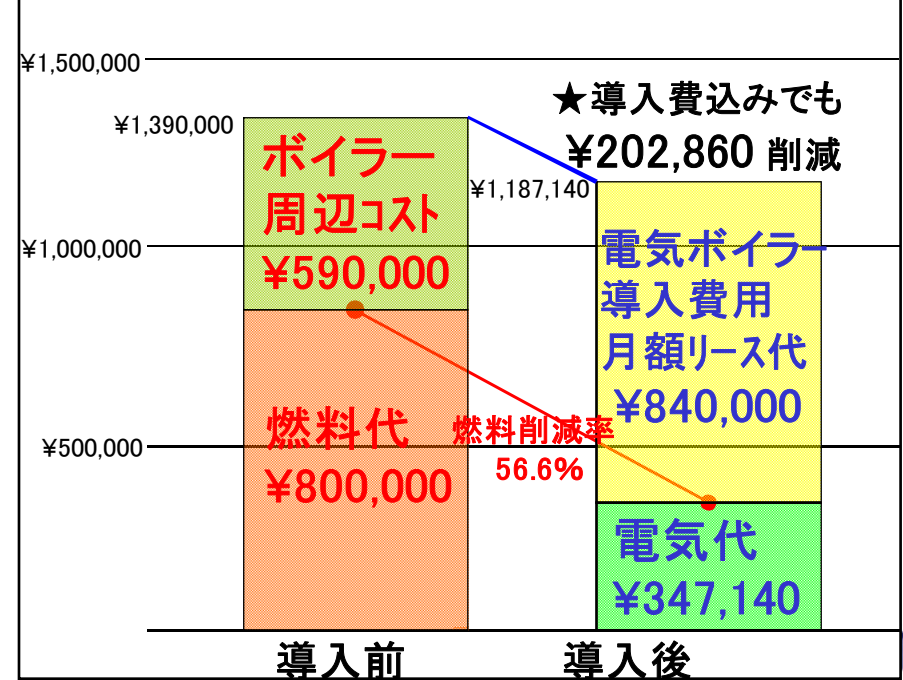
特殊電気ボイラー



■ 導入時試算概要 ■

◆適合システムランニングコスト				
■必要湯量	(75.0°C)	12,000 L	※1日平均	
◆熱量合計(1日平均)	給湯(夜稼動)	8.13 時間	※1日平均	
	加温(昼稼動)	7.35 時間	※1日平均	
■電気給湯機電気代	夜稼動	8,171 円	※1日平均	
		239,010 円(①-A)	※月間平均	
	昼稼動	3,697 円	※1日平均	
		108,130 円(①-B)	※月間平均	
	合計電気料金	347,140 円(①AB合計)	※月間平均	
◇電気ボイラー設置 リースコスト				
■電気ボイラー導入費用合計	55,000,000	840,000 円(①-C)	※月間リース代(7年)	
	◇月額リース料を含む 合計	1,187,140 円(② ①ABC計)		
◆コスト削減額				
■削減対象燃料費(給湯系統)		800,000 円	※月間平均	
■ボイラー技士報酬		150,000 円	※月間平均	
■危険物取扱手当		50,000 円	※月間平均	
■排煙棟清掃		80,000 円	※月間平均	
■冷房・暖房切替		90,000 円	※月間平均	
■ボイラー補修費		220,000 円	※2年間の月間平均	
	現状コスト合計	1,390,000 円(③)		
■総コスト削減額(③-②)		202,860 円	※月間平均	
(削減率)		400.4%	※対給湯系統燃料費	
(投資回収期間)		4.39年		

■ 月間導入前後コスト比較(導入費含む) ■



① 外食人手不足対策製品「自動発注システム」「セルフレジ」販売に集中

継続

「軽減税率対策補助金」需要及び外食産業の課題である人手不足に対応できる製品・サービスに営業リソースを集中

② 新データセンターの本格稼動 日本一災害時に強いセンターに

国内初の規模で「BELS」5つ星認定を取得

強いセンターを武器に、外食向けマルチ決済サービスを随時リリース

③ 前期投入の製品／サービス拡充により、代理店政策のさらなる強化

RARO認定試験合格者による指導員不足解消で、販売活動の幅をさらに拡充

④ 国内初のオフグリッド技術を、コスト削減サービスに応用

前期実現させたホテル化石燃料ボイラーの撤去入れ替え技術をサービス展開

⑤ 「自動発注システム」を海外展開の柱にした、組織作りに着手

ベースとなる「飲食店経営管理システム®」の多言語化に着手

2019年度～ 中期経営計画の概要

◆売上高よりも利益率の改善を優先した、企業体質の強化に重点を置く政策を継続
 売上規模も徐々に拡大しつつ、絶対利益額の拡大を狙う段階に移行

(単位：百万円)

主な勘定科目	18/9月期	19/9月期	20/9月期	21/9月期
	実績	計画	計画	計画
売上高	2,038	2,800	2,900	3,000
営業利益	148	400	440	480
経常利益	129	380	420	460

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS | S」は
店舗システム機器／基幹業務システム／Web集客支援を1社で手掛けるAFSならではの周辺統一元管理サービス

●「飲食店経営管理システム®」の提供と融合し、“食”企業のすべての業種／業態に対応できるようになった●

■店舗

多機能*FGNカード(*FoodGenesisNetwork)

情報共有

予約顧客情報 Handy chat は、1台8役の超マルチ端末

プロア予約情報 & 席席顧客情報表示
・前回12月9日利用
・前回和食メニュー
・累計4回利用
・アカート★など

Web予約の自動配信
Web閲覧も可能です。

ハンディへの表示が可能

利用実績管理
入金・決済・ポイント処理・顧客購買情報交換

オーダーシャット
セルフシャット

顧客検索も可能(カード不携帯やVIP顧客への対応)

磁気カード Edy Suica, PASMO QUICPay/iDは、完全標準対応

宅配伝票支援システム

- 予約注文受付(CTI)
- 調理指示書
- 配送処理
- 顧客情報管理(履歴)
- 実績集計
- DM抽出・発行
- 売掛管理
- 日別/席別予約一覧
- 予約台帳管理
- 顧客情報検索
- 利用実績/履歴表示
- テイクアウト予約管理
- デリバリー予約管理

お客様

お客さま

■本部

外食チェーン様 ホームページ

全DBをグループ全部門で情報共有

フロアレイアウト

予約顧客DB

世界初! 座席指定の予約サイト

AFSデータセンター

「FOOD GENESIS」Ultra統合DB

POS購買顧客DB

本部系基幹業務システム

通販購買顧客DB

顧客 商圈抽出 DB

マーケティング支援システム

顧客 商圈分析 DB

商圈分析支援システム

商圈分析 販促などの効果測定

決済・ポイント処理

顧客・利用実績データ

最低見積積入札システム

分析データ

■テイクアウト・宅配・通販

e-foodオーダー

すべてがひとつに。デリバリー・テイクアウト・Web予約サイト (管理機能付き)

①ネット販売 ②一般通信販売 ③各種CTI機能

多機能カードでお買い物 (ポイント/ギフト/プリペイドカード) ※標準対応

■共同購買・マーケットプレイス

■CK・物流/仕入ネットワーク

自動発注データ受入

在庫管理(基準在庫)

加工品・リードタイム

製造指示・ピッキング表

産地情報・アレルギー

JAN/ITF・電子請求書

単価切替管理

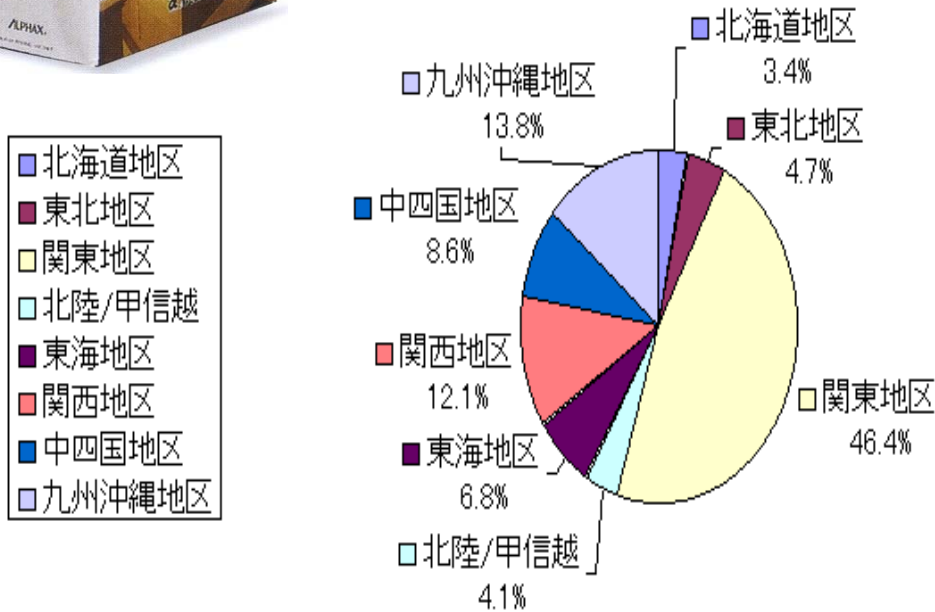
物流側自動発注



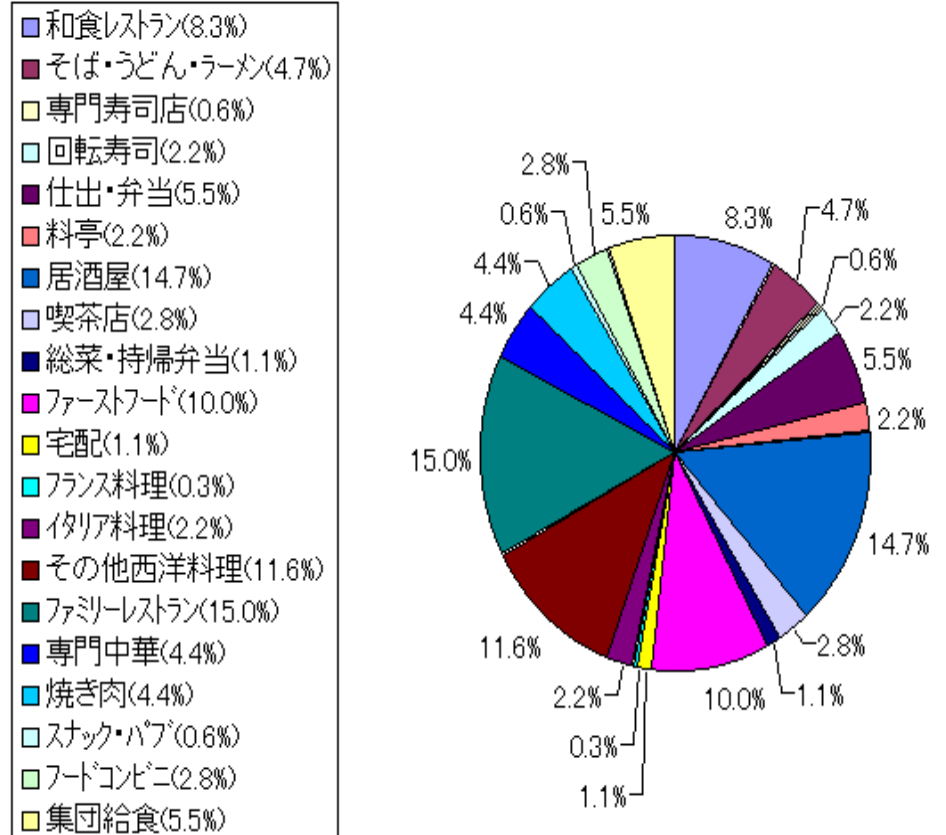
◆創業時、発売後実質5年間で、国内1,500社、18,000店舗に急拡大◆
“食”業界の情報システムに革命をもたらしました。(大ベストセラー、一大ブームに)

現在も使用中の小規模店の入替えが始まりました。

AFS全国ユーザーMAP(2001年3月末現在)



AFSユーザー店舗業態分布(全18050店 2001年3月末現在)



「飲食店経営管理システム®」は、当時のパソコンの容量/スピードが、システムに追いつかず、残念ながら実質1995年から販売を停止していました。

◆「飲食店経営管理システム®」と「FOOD GENESIS」の融合サービスで比類なき専門性を追求◆

新規顧客の拡大

既存顧客囲い込み

ASP/クラウド型 基幹業務サービス事業

- ①黒子から、積極大手ユーザー告知/協業へ
- ②新データセンター構想告知で積極的受注
- ③ISOの範囲拡大による、高技術をアピール

- ①標準サービスに徹し、粗利率の改善
- ②追加サービスの投入による月額サービス増
- ③他社周辺サービスとの接続による拡大

「飲食店経営管理システム®」

- ①あらゆる業種の“食”企業へのアプローチ
- ②全国セミナー開催/大型展示会販売を開始
- ③高粗利のため、全国代理店網の高速協業化
- ④マルチベンターPOS集信化で、共創未来
- ⑤食専門コンサルへのアカデミック価格で販売促進



基幹業務パッケージシステム販売事業

- ①過去1,500社18,000店舗へのアプローチ
- ②現使用中の100社1,000店舗への入替推進
- ③ASPサービス顧客への追加アプローチ
- ④オプションシステムのための追加アプローチ
- ⑤ASP型サービスとの融合サービス推進

システム機器事業&周辺機器サービス事業

- ① **FOODα6000** の市場投入で受注拡大
- ② セルフレジ「**セルフレジ**」の受注拡大
- ③ エネルギーコスト削減事業の開始(主にホテル)

- ① **FOODα6000** の入替促進
- ② セルフレジ「**セルフレジ**」提案
- ③ 新型ハンディ「**Handy shot**」の追加機能リリースによる受注

ホテル関連事業（ナチュラルグリーンパークホテルの管理・運営）

- ①新製品/サービスの実証店舗としての運営
- ②飲食料品未来志向の運営

- ①サービス体験施設としての位置づけ

◆ASPサービス事業・基幹パッケージ事業・店舗システム機器事業相互にアプローチ◆

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS」機能を完全補完■



【“食”産業全体がマーケット】



基幹パッケージ事業で補完

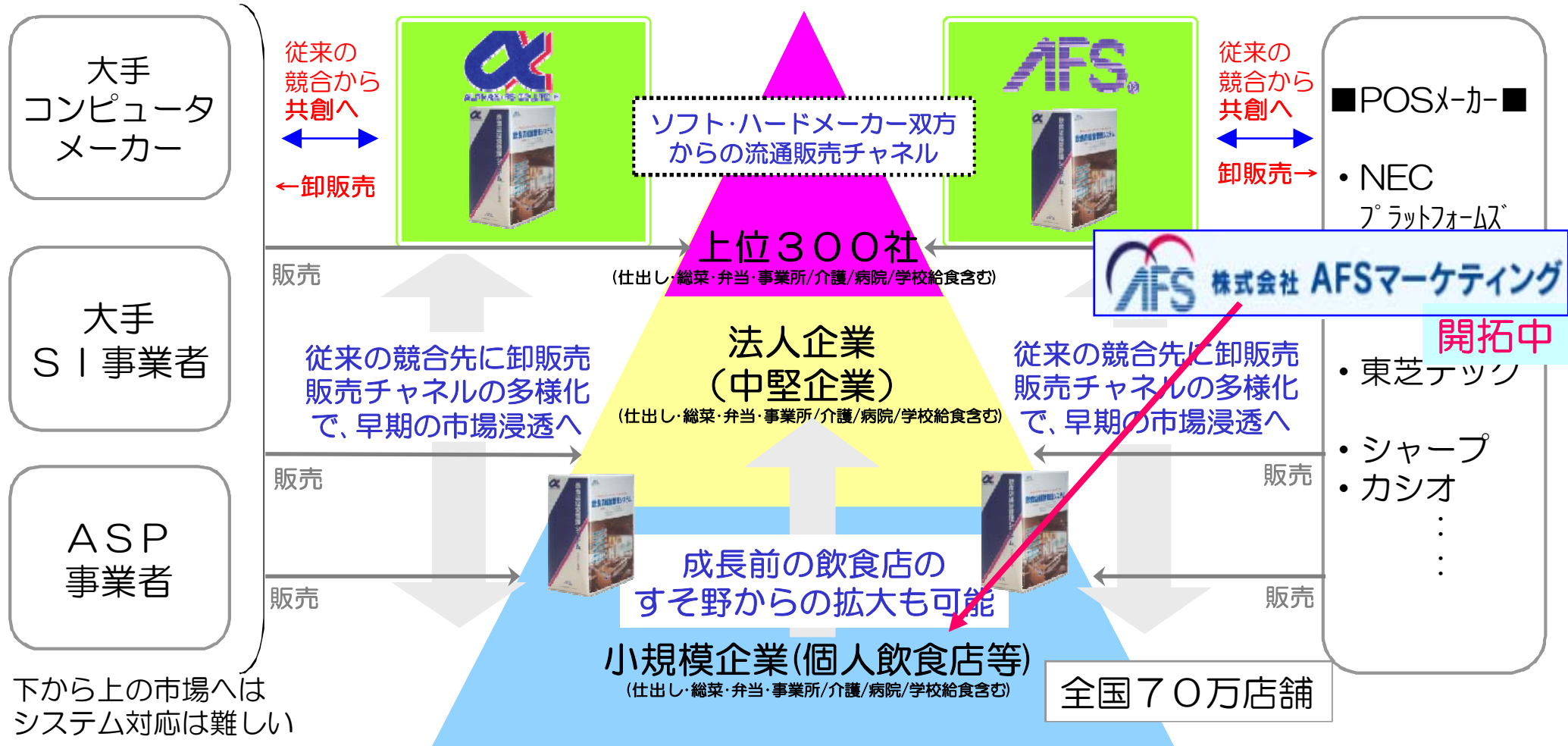
e-店長代理 e-CREW

e-店長代理 e-CREW

◆ 外食業界上位300社から、成長前の小規模店多業種もターゲットへ ◆

「飲食店経営管理システム®」は、マルチベンダーパッケージ 従来の競合会社へも卸販売し、「共創未来」関係に

◀... 本部側基幹業務システム (ソフト) 店舗側システム機器 (POS/OES) ... ▶

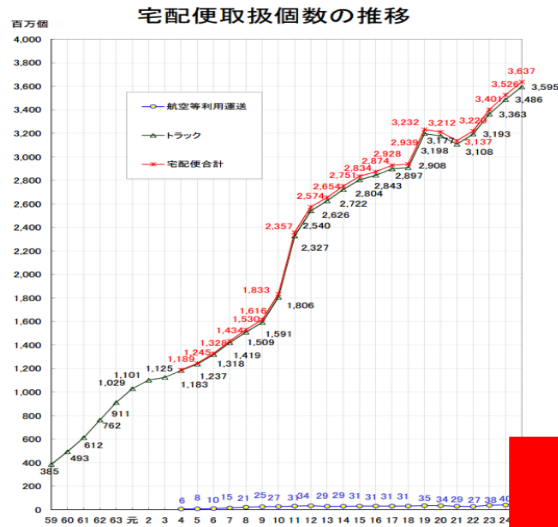


今後さらに「自動発注システム」に集中

外食産業の深刻な人手不足と、当社の稼働成功事例／1月の日本経済新聞掲載効果で、「自動発注」需要が爆発

「自動発注」は、宅配市場の再来

「自動発注」近々の市場拡大規模



1956年はゼロ

現在宅配便は、年間36億個

36億個 × 平均1000円 = 3.6兆円

ヤマト + 佐川 + 日本郵政3社で

市場規模 約3兆円



2016年度外食市場規模 24兆円
外食全体店舗数(法人)は60万店

現在ほぼゼロの「自動発注システム」の

近々新規市場規模は
国内のみでも

2,160億円
(月額1万~4万円試算)

当社だけの市場規模にあらず

一般社団法人
外食産業自動発注業務改革機構設立
(需要拡大を後押し)

今後さらに、「自動発注システム」 受注に集中

ALPHAX FOOD SYSTEM

